



2025～2026 年度
RI 会長メッセージ

UNITE FOR GOOD
よいことのために手を取りあおう

豊橋北 RC
会長テーマ

利他と言う高みに登る為に
本気でやるべきことを
皆でやりましょう

2760 地区

例会日＝毎週火曜日 12:30 例会場＝ホテルアークリッシュ豊橋 会長 高坂泰弘 副会長 酒井和良 幹事 川口和樹

豊橋北ロータリークラブ 〒440-0075 豊橋市花田石塚 42-1 豊橋商工会議所内 TEL(0532)53-1000 FAX(0532)53-6447

第 3 2 3 3 回例会

12 月 2 日 (火)

vol. 70 No. 16

ゲ ス ト : 今井智景氏(作曲家)

ビ ジ ター : なし

出 席 報 告 : 会員 58 名 欠席 9 名 出席率 84.48% 前々回修正 96.08%

ロータリーソング: 奉仕の理想

メニュー: 和 食

会長挨拶・報告

高坂泰弘会長



始めにゲストのご紹介をさせていただきます。作曲家の今井智景様です。

本日は定款及び細則に定められました年次総会となります。総会後の卓話ゲストである作曲家の今井智景様のご紹介をさせていただきます。今井様は愛知県立芸術大学卒業後、アムステルダム音楽院で学士と修士を取得され、これまでに湯浅譲二、松井昭彦、ウィム・ヘンドリクス、ファビオ・ニューダー各氏に師事致しました。作品は国際的に活躍する指揮者や演奏家達によって、ヨーロッパ各地の音楽祭、武生国際音楽祭など国内外で演奏され、西ドイツ放送局、オランダのラジオフリークなどでも紹介されております。また、フランスのパリ秋祭、ドイツのヴィッテナー・タグ室内楽音楽祭、アメリカのミュージック・フロム・ジャパンなどからも委嘱を受けております。他分野の芸術とも積極的に交流を深め作品を発表しております。

私が管理している魚町能楽保存会とのコラボも数度にわたって行っています。今井さんの現代音楽の生演奏をベースに舞踏をミックスし、さらに能面をスクリーンに映し出す異空間ともいうべきパフォーマンスを繰り広げております。その様子は後程ご本人よりご紹介があるものと思います。

12/6(土)には名古屋の愛知県芸術劇場で今井様の企画・演出による公演を開催いたします。ルネッサンスハープという古い楽器をメインにドイツから奏者を招聘し、さらにチェンバロそしてビジュアル・アートも含んだ内容です。自由と革新に基づく不協和音に身を委ねる、最先端を是非ご堪能いただければと存じます。

幹事報告

川口和樹幹事

- ①2026-27 年度理事・役員候補一覧を各テーブルに配布しました。
- ②過日新会員通知をお送りした鈴木雄介氏のインフォメーションが終了し、2026 年 1 月 6 日の例会にてご入会の予定です。
- ③浅井由崇名誉会員が 2026 年 1 月より正会員とされます。

例会変更

12 月 16 日 (火) 田原パシフィック RC 豊橋北 RC

例会休会

なし

委員会報告

豊橋北 RC 奨学金基金

藤井純一委員長

小林利生会員より 3 千円、佐藤元英会員より 2 千円、下山暢子会員、石川誠会員、川口和樹会員、松井幹晴会員、河合成高会員、田崎政秀会員、辻直樹会員、藤城寿彦会員より 1 千円の寄付がありました。ありがとうございました。

社会奉仕委員会

尾藤敬委員長

次週の例会は、特定非営利活動法人 朝倉川育水フォーラムの大谷忠興理事長をお招きして、朝倉川育水フォーラムの取り組みについてお話をさせていただきます。

会員増強委員会

石川誠委員長

12/9 の例会に(株)紙半 代表取締役の菅野定様(推薦者:今井教博会員)、瘦身専門 HanaPono の有水希養子様(推薦者:中井清昭会員)のお二人が体験例会として参加されますのでよろしくお願いたします。

ニコニコボックス

河合修治会場委員

中沢拓也会員	来年 2 月のみずは銀行豊橋支店の移転に伴い、次週 12/9 の例会前に会場入り口付近で年末ジャンボ宝くじの特設販売を行います。
水越英明会員	入会して一年が経ちました。皆様のお陰で楽しく参加できています。有難うございます。
高坂泰弘会員 川口和樹会員	作曲家 今井智景様、ようこそ豊橋北 RC へ。ご来訪を心より歓迎します。本日のプログラム楽しみにしております。

本日のプログラム

担当: 理事会

【①年次総会】

川口和樹幹事



本日は、豊橋北 RC 定款第 7 条「会合」第 2 節「その他の会合」(a)及び豊橋北 RC 細則第 5 条「会合」第 1 節により「役員を選挙し、前年度の財務報告を発表するため」の年次総会を開催いたします。前年度決算については 9/9 の例会で河合成高前幹事より報告をしていたので省略いたします。尚、現年度前期の中間財務報告につきましては、標準ロータリーク

ラブ定款が「1月31日までに行われる会合において発表する」(第7条「会合」第2節「その他の会合」(b))と改訂されましたので、1月の例会内でご報告をさせていただきます。

以降、豊橋北RC定款・細則を省略し、「定款および細則」として進めさせていただきます。それでは議事に入らせていただきますが、その前にまず議長選任を行います。細則第4条「役員の任務」第1節の規定により、会長が議長を務める事になっておりますので、ここからは高坂泰弘会長にお願いいたします。

高坂泰弘会長

規定により、ただいまから議長を務めさせていただきます。はじめに定足数の確認をいたします。クラブ会員数58名、本日出席会員数49名、出席率は84.48%となり、細則第1条4節の定める定足数1/3以上を満たしていますので、総会は成立することをご報告いたします。

それでは議事に入らせていただきます。定款第11条「理事および役員および委員会」第5節「役員の選挙」及び細則第3条「選挙と任期」第2節「選任方法」(1)「候補者の指名」により、10/28の例会で理事会指名の次年度理事・役員候補者を皆様にご提示しました。会員皆様からの指名はありませんでした。よって細則第3条「選挙と任期」第2節「選任方法」(4)「年次総会における承認」により、本日の総会で承認を受けることになります。次年度理事・役員候補者を改めてご紹介いたします。

豊橋北ロータリークラブ

次期(2026~27)理事・役員候補者

理事・役員	石川 誠(会長)	理事・役員	高坂泰弘
理事・役員	下山暢子(会長エレクト)	理事・役員	安達道行
理事・役員	松井幹晴	理事・役員	河合成高
理事・役員	山内有恒	理事	田崎政秀
理事	水越英明	理事	氏原憲志
理事	浅野 卓	理事	藤城寿彦
理事	小林利生	理事	伴 俊樹

ご承認いただけるようなら拍手をもってお願いいたします。(拍手多数) 出席会員過半の拍手多数をもって承認されたことを確認しました。以上で年次総会、次年度理事役員の承認を終了します。ありがとうございました。それでは次年度会長石川誠会員よりご挨拶を頂きます。よろしくお願いいたします。



石川誠会長エレクト

ただいま総会により2026-27年度の理事・役員のご承認を頂きましてありがとうございます。今晚開催される第1回次年度理事・役員候補者会議において役職を決定し、次回の例会時にご報告させていただきます。

次年度理事・役員候補者には、昨年度入会した13名の内、4名の方がいらっしゃいます。そしてベテラン、中堅と老壮青バランスの取れた精鋭メンバーとなっていると自負しております。次年度は当クラブの創立70周年の節目の年となります。そのような年に偶然とはいえ会長という大役を拝命したことを、大変光栄に思うと共にその責任の重さを痛感しております。

昨年からは担当させていただいている会員増強と同様に、私一人では何もできません。このクラブ、この地域を少しでも盛り上げていくことができるように、皆様のお力を借りて楽しく真面目に一生懸命取り組んでいきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

【創立70周年準備委員会報告】

佐藤元英委員長



私が会長を務めさせていただいた年に、当クラブは還暦、創立60周年を迎えました。鈴木伊能勢会員に実行委員長を務めていただいて色々な記念事業を開催しましたが、早いものであれからもう10年が経とうとしています。10年も経てば我々豊橋北RCが置かれた環境も変化しており、メンバーもかなり入れ替わっています。豊橋

北RCが歩んできた今までの歴史、会員の皆さんの今の価値観、これからどのようなことをやっていけばよいか、色々なことを考えながら進めていきたいと思っております。

次年度の理事会とは連携して表裏一体の活動となっていくと思います。今の豊橋北RCに思うこと、感じていることは出し尽くしている段階までは来ております。今はそれをどのような形でまとめて、これからの10年の為に発信していくか、良いターゲットが降ってくるのを待っている状況ですが、そううまくはいかず焦ってしまいます。内容は大部分絞られてきてはいますので、今後、会員の皆さんにお話をしながら、取捨選択、或いはより良いものを見つけて進めていきたいと思っております。年明けには具体的に皆さんへお知らせする機会も頂きたいと考えております。

次年度がスタートする時にはしっかりと決まっている状態になっていなければ、次年度の理事・役員の皆様に非常に迷惑をかけるということになってしまいますので、その点にも留意してやっていきたいと思っております。次年度の理事・役員を始め、会員の皆様にはお願いすることばかりになっていくことと思いますが、よろしくお願いいたします。

【②ゲスト卓話：アートでつなぐ社会のリング】

今井智景氏



私は名古屋生まれ名古屋育ちで、オランダに留学し、その後は名古屋に戻り名古屋を拠点にして活動しております。作曲家といっても皆さんが普段TVなどで耳にされるような音楽ではなく、劇場で演奏するような音楽を作っています。

私達が携わっているのは現代音楽というジャンルです。例えばモーツァルトの時代ではモーツァルトの曲が現代音楽です。つまり今生まれている音楽が現代音楽ということになります。

ドイツのアンサンブル・モデルンは、その今生まれ続けている音楽を40年前から発信し続けているこのジャンルでは世界でトップクラスの老舗のアンサンブル団体です。アンサンブル・モデルンが2020年に40周年を記念するコンサートを開催しました。その時に私にもお声がかかり、お祝いの作品を提供させていただくことになりました。ただコロナの真ただ中ということもあって無観客開催、オンライン配信のコンサートになりました。

曲を提供する際には、時期的にクリスマスキャロルに因んだ曲にして欲しいというリクエストがありました。まず、アンサンブル・モデルンが拠点とするフランクフルトを流れるライン川周辺で良く歌われている曲をお聞かせください。

続いて、この音楽をベースとして、私なりの音楽的な言葉をもって作った曲をお聞かせください。元となったキャロルのハーモニーを使って、私になりに感じたことを表現したものです。

今あるものにもっと面白い魅力は無いか、違う視点で見たらどう見えるか、皆があまり注目していない視点から見た時にどんな美しいもの、楽しいものができるかなど、あるものを魅力

的に見せる、知ってもらうといった目線がアーティストには必要だと思います。それがアーティストの使命だと思っています。私達はそういったことを音楽というデバイスを通して皆さんにお伝えしていく作業をしている職人だと思っています。

クリスマスキャロルの背景、皆がどのように歌い継いできた、歌い継がれてきた地方はどのような場所かなど、色々なことを見たり調べたり考えたりしながら、もしくは音楽自体の持つ面白さを考えたり角度を変えて見たりしながら曲を作りました。その結果あの様な形になったということです。

私は昔から能に興味を持っていました。海外で勉強していく中で、日本人であるのに何故西洋の言語で音楽を作っているのかということを問われるという時期がありました。日本人とは何か、日本人としてどのように音楽をとらえるのか、様々なことを考えました。

その中で能に出会い、私は魅了されていくことになります。特に面白いと感じたのが能面です。能面自体はそのままでは何も変わりません。しかし、能面を演者が着けて演じることや、照明や角度などで表情が変わっていく不思議な面だと思います。世界でも他に例は見当たりません。何故自分がこんなにも能に魅了されるのかと考えた時に、能面の持つそういった美しさも大きな理由の一つだったと思います。能面の表情をどのように変えていくか、自分の音楽と共にどのような情報を乗せて皆に届けられるかということを探求し続けています。

その一つとして最初に作ったのが「シネクドキズム2」という作品です。愛知県芸術劇場で3年に一度開催される国際芸術祭(2016年)で発表したものです。そのトレーラーをご覧ください。

コンテンポラリーダンスと能面のビジュアルアートと私の音楽で進んでいく一時間程の作品になります。能の演目にもなっている『源氏物語』の「葵上」を下部構造としています。

トレーラーに能面の「増女(ぞうおんな)」と「般若」が登場していますが、これは写真を重ねて作った映像です。安海熊野社に保管されている場所をお借りして撮影をしました。ライティングや角度を変えて撮影した約500枚の写真を重ね合わせて表情を変えていくという作業をしています。

続いては2022年のあいちトリエンナーレでの招待作品です。もう一度能面の作品をやって欲しいという依頼があり、作ったものです。こちらでは「大天神」という面を使っています。賛否両論ありましたが、現代アートの美術家、評論家の方達からは評価された作品でした。

能面の撮影を担当していただいた写真家のたかはしじゅんいちさんは坂本龍一さん等の著名な方々と一緒に仕事をされたり、ハリウッドスターの写真撮影をされたりもしている方で、また人形浄瑠璃の人形や能面を撮影する時も大変描写が素晴らしい作家さんです。これは私からラブコールを送って実現したプロジェクトでした。今回、撮影していただいた写真を何点か持ってきましたので、是非ご覧いただければと思います。アーティストの見方や手が入るとこんなにも変わるということがお分かりいただけるのではないかと思います。

作品を作ること以外に、私がライフワークとしているのが、社会と自分の作品の音楽がどのように結びついて何ができるかという実験です。名古屋市が使われなくなった中川運河をアートによって再生するという実験を行いました。次の写真はそれに賛同して作り上げたコンサートとインスタレーションの様子です。周辺の神社を舞台にしてコンサートを開いたり、ビジュアルアートと共にまちをデコレーションしたりといったイベントを開催しました。

中川運河の通りは名古屋市の約一割の産業を担っている場所でもあります、企業の皆さんにご提供いただいた廃材を使ったワークショップも開催しました。廃材から楽器を作り、一緒に

演奏をしたりしました。地元の企業の仕事を知ってもらいながら、そこから生じる廃材を使って何ができるかを考えるということを行いました。

今年はベルリンからハープ奏者のマクシミリアン・エアハルト氏をお招きして、12/6(土)に愛知芸術劇場でコンサートを開催します。彼は400年程前のハープであるヒストリカルハープ「アルパ・ドッピア」の奏者です。彼はヒストリカルハープを歴史的なものとして終わらせるのではなく、もっと面白い形で何かできないか、もっと新しい魅力を発見できないか、新しい目線で何ができるのかということを考え、現代音楽と古楽を結びつけた演奏会を行っています。

現在、エアハルト氏は名古屋に滞在されており、市内の小学校を訪れて話をしたり合奏をしたりして、多くの人にアルパ・ドッピアに触れてもらう機会を作っています。11/30には中川運河のほとりに名古屋市が実験的に作った「PALET. NU(パレット・ニュー)」という所でヒストリカルハープとモダンハープの違いを知ってもらう為のコンサートを開催しました。

ヒストリカルハープとモダンハープの演奏をそれぞれ流しますので音色を聞き比べてみて下さい。

外での演奏を撮影しているので音量の違いは分かりにくいかもしれませんが、モダンハープの方がきらびやかな音色がするのではないかと思います。400年前のハープは少し音色が固く、音量も小さいので、演奏するのはかなり小さい場所だったと考えられます。澄んだような、透明感のある音色ではないかと思います。

当日集まって下さった皆さんも、音色を聞き比べたり、ハープの演奏の仕方や二つのハープの違いを聞いたりしながら、大変興味を持ってくださったようでした。このような機会を作ること、今後コンサートに行った時にハープに注目するようになる、そのきっかけを作ることができたことは、本当に嬉しく思っています。

音楽というのは作って演奏して聞いてはじめて音楽になります。皆で共有できるもの、共有するものであるということを考えて、そのような場所を作り、その場所に私達が少しスパイスを加え、多くの人達に音楽にもっと興味を持ってもらえる機会を作る。そういったことに尽力しているところです。もしご縁ががありましたら、豊橋でもそのような機会を作ることができればと思っています。本日はありがとうございました、



監修・発行	会場委員会
写真撮影	会場委員会